

広島市植物公園 見どころ案内

2024年2月1日
通巻第609号

今週の
見どころ案内
掲載植物

現場にはこの表示
がしてあります。

展示会のご案内

④展示資料館 (1/13~2/12)
植物写真コンテスト作品展

④展示資料館ロビー (1/20~2/8)
広島市植物公園写生大会入賞作品展

⑥展示温室
冬の鉢花展 (1/6~2/4)
おもと名品展 (2/7~2/13)

クロマツの雪吊り

雪に備えて、日本庭園のクロマツに雪吊りを設けています。冬の風物詩をお楽しみください。

ウメ '冬至' (バラ科)

当園のウメの中でも最も早く開花するウメです。現在咲き始めです。ピンクの花を咲かせる'八重寒紅'も近くで咲き始めました。

マッソニア デプレッサ (キジカクシ科)

花には強い酵母臭があり、花の中心から蜜を分泌します。現地ではネズミが花粉を運びます。

オオバナソシンカ (マメ科)

中国南部(香港)原産。ホンコンオーキッドツリーとも呼ばれ、現地の通貨や旗にも描かれています。

アイスチューリップ (ユリ科)

球根を夏場に冷蔵処理して、開花時期を早めたチューリップです。

クリスマスローズ (キンポウゲ科)

花びらのように見える部分は5枚のがく片です。散って落ちることがないので、長く鑑賞できます。

ユキワリイチゲ (キンポウゲ科)

春先に雪を割って一輪の花を咲かせることから名前がつけました。日光が当たり、暖かくなると花が開きます。

カンツバキ (ツバキ科)

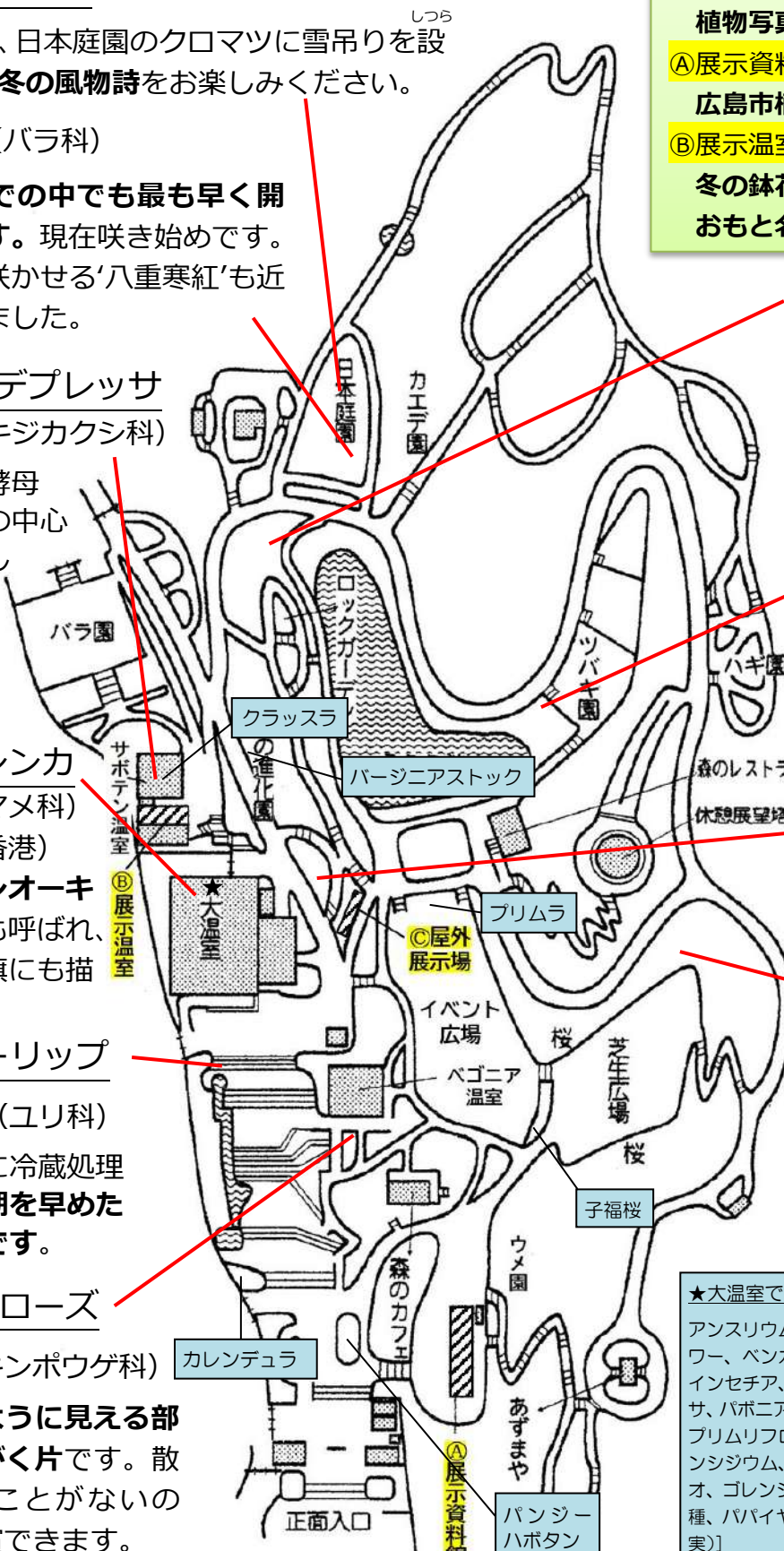
ツバキとサザンカの交雑種と言われており、環境耐性が強いことから植木森のレストランにもよく利用されます。

ハナナ (アブラナ科)

「菜の花」の名で知られ、早春を代表する植物です。

ロウバイ (ロウバイ科)

漢字で書くと「蠟梅」ですが、梅のなかまではありません。花の大きなソシンロウバイは園芸品種。隣ではシナマンサクも咲き始めました。



★大温室で見頃の花・果実

アンズリウム、アマゾンリリー、クリナム、スネールフラワー、ベンガルヤハスカズラ、ジャスミン '花美人'、ポインセチア、カリアンドラ、ブーゲンビリア、ルリハナガサ、パピオニア・グレヒリー、クレロデンドルム、モノレナ・プリムリアフロラ、ラン各種 (コチョウラン、カトレヤ、オンシジウム、パンダ)、[コショウ、ソーセイジノキ、カカオ、ゴレンシ、コーヒーノキ、ホワイトサボテ、バナナ各種、パイヤ、チューインガムノキ、パンノキ (以上は果実)]

❖ 毎週土・日曜日・祝日 午後1時半~3時20分は、ガイドボランティアが園内を案内します ❖
❖ 2月3日(土)、2月27日(火) 午前11時~は、職員による植物うんちく語りを実施します ❖